

15 クロガモ

(カモ目)

兵庫県ランク: C

Melanitta americana

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

シベリア東部からカムチャツカ、千島列島、アラスカ西部、カナダ中・東部などで繁殖する。繁殖後は中国東部、朝鮮半島、日本、北アメリカ西岸などに渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、主に北海道、本州、四国などで越冬する。海上や内湾、海岸に生息し、潜水して貝類や甲殻類などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、佐渡、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、伊豆諸島、小笠原群島



写真提供：北野光良

(性別：メス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、★姫路市、尼崎市、明石市、★西宮市、洲本市、★豊岡市、加古川市、★赤穂市、高砂市、南あわじ市、淡路市、たつの市

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○					○			

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に9-翌3月に生息する。1960年代までは瀬戸内の海上に数羽から30羽前後の群れがよく見られていた。当時はビロードキンクロの大群の周囲に小群が点在していたことが多かった。ビロードキンクロの減少と同じ頃に減少した。最近では、武庫川河口、神戸市ポートアイランド沖、甲子園浜などで観察されている。重油等の流出による被害で、群れが大きな打撃を受ける例がある。

保護上の留意点

浅い内湾で潜水して主に貝類や甲殻類を捕食するので、甲子園浜や新舞子の底生生物の保全が重要。併せて、生息海域の海洋環境の保全が重要。特に、重油や化学物質の流出などによる海洋汚染は、その生存に致命的な結果をもたらすため回避する努力が必要。